

[広報]

# つるおか

2017  
平成29年  
1月号  
No.226  
毎月1日発行

02 〈新春座談会〉

## 食文化創造都市 鶴岡の未来

- 08 鶴岡の2016年を振り返る
- 10 市からのお知らせ
- 12 まちのできごとほっとピックス
- 14 つるおか情報掲示板
- 20 みんなの文化会館
- 21 各種相談窓口
- 22 今年は酉(とり)年です



【新春座談会】

# 食文化創造都市 鶴岡の未来



ユネスコ  
食文化創造都市

## 鶴岡

UNESCO Creative City  
of Gastronomy

国内初で唯一のユネスコ食文化創造都市・鶴岡。

世界が認めた鶴岡の食文化は農業者や漁業者といった生産者や、飲食業や宿泊業、加工業など広く食に携わる方、そして市民1人ひとりの手で守り、受け継いできたものです。

今回の座談会では、鶴岡食文化の魅力やそれらを生かした取り組みなどを語っていただきながら、食文化創造都市・鶴岡のこれからの考えます。



五十嵐 大介 氏  
農業者



庄司 丈彦 氏  
湯田川温泉旅館若旦那



本間 光太郎 氏  
漬物会社社長



山口 美和 氏  
鶴岡ふうどガイド・野菜ソムリエ



榎本 政規 鶴岡市長



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



CITY OF  
GASTRONOMY  
**TSURUOKA**

Designated  
UNESCO Creative City  
in 2014



## ユネスコ認定をスタートに

《市長》 明けましておめでとうござい  
ます。

《一同》 明けましておめでとうござい  
ます。

《市長》 本市の基幹産業・農林水産業と密接に関わる鶴岡の「食の文化」に光を当て、産業振興など本市の優位性を伸ばすことにつなげたいという思いから、ユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野への加盟を目指しました。本市は学校給食発祥の地で、山大農学部から協力していただきまとめた『はたけの味』『たんぼの味』『はまべの味』『めぐみの味』などで紹介されている在来作物をはじめとする多様な食材や、『つるおかおうち御膳』で紹介されている行事食や郷土料理が特徴です。食と文化が結び付いている本市はきつと認定されるだろうという自信がありました。平成二十六年十二月に国内で初めて加盟が認定され、現在も食文化分野への唯一です。ミラノ国際博覧会（万博）への出展や世界のユネスコ創造都市ネットワークに加盟する都市、イタリア食科学大学との交流等を通じ世界に鶴岡の食文化をアピールできていますと手応えを感じています。一方で、市民の皆さんに食文化の取り組みが十分に浸透していないことは大きな課題です。

市民の皆さんが鶴岡の食文化に誇り

を持ち、食文化を生かして地域を元気にしていくためにはどのように取り組むべきか、ご意見を頂きたいと思ひます。

《本間》 私の会社では、今のように食文化が注目される前から、在来作物を使った商品を取り扱ってきました。ユネスコへの加盟認定で、これまでにならぬ追い風を感じていますが、一方でPR不足も感じます。鶴岡の食文化が世界的に評価されたことは素晴らしいことなのでもっと発信してほしいと思ひますし、特に市民に対して、その意義等もきちんと伝える必要があると思ひます。

《五十嵐》 農産物や農産加工品のパッケージに鶴岡食文化のロゴマークをプリントしPRしています。消費者から「このマークは何ですか」と聞かれ、説明することもありますが、それ以上話題が広がっていないのが現状です。まだまだ浸透していないというのが卒直な感想です。

《山口》 ユネスコへの加盟認定が一番の目標だったと思ひますが、これからは、その先の到達点を示す必要があるのではないのでしょうか。加盟認定によるメリットなどを市民にもっと発信していかないと、理解にはつながらないのかなと感じています。

## 鶴岡の食文化って？

《山口》 例えば、夏のただちや豆や冬



の寒鰯<sup>た</sup>など、その季節ならではの食材や料理が家庭の中で食べられていたことが、鶴岡の食文化の一番の特徴だと思います。ただ、市民にとっては、当たり前のことなので、何が評価されているのか分からないというのが正直なところではないでしょうか。

《庄司》 自分の特徴や誇れるようなところを客観的に評価するためには、自分を映し出す「鏡」が必要だと思います。私たちの食文化を見つめ直すときに、鏡となるのは、特に外国人だと思います。外からの評価が上がれば、鶴岡の食文化を再認識することになると思いますし、それが誇りになって、もっと積極的な魅力の発信につながっていくと思います。

《市長》 山口さんのおっしゃる通りで、鶴岡の食文化は家庭料理です。四季折々の旬の食べ物が家庭の食卓に並び、おいしいのは当たり前です。そして、その食がそれぞれの家庭に根付き、行事食や郷土料理として受け継がれていることが評価され、ユネスコへの加盟認定につながっています。そのことを改めて市民の皆さんから認識してもらいたいですし、市としてもきちんと発信していかななくてはならないと思います。

### 伝統的な行事食の大切さ

《本間》 十二月九日は大黒様のお歳夜で、豊作や子孫繁栄を願い、焼き豆腐

やハタハタの田楽、黒豆ごはん、納豆汁など豆尽くしの料理を食べることが昔からの習わしですが、そういった伝統的な行事食を家庭で食べなくなってきたと感じています。特に、私と同世代の友人から話を聞くとほとんど食べていないですね。これでは、伝統的な行事食がなくなってしまうです。

《五十嵐》 確かに、三世代同居の割合が高い農家でも、伝統的な行事や風習などが省略されてきていると感じます。《本間》 学校給食発祥の地なので、子供たちが、在来作物や行事食をもっと給食で食べて、鶴岡の食文化も学んでいければいいと思います。それが地域全体で伝統を継承することにつながると思います。

《市長》 学校給食では地産地消推進のため、食材の半分を鶴岡産にすることを目標としています。費用を考えれば、ほかで生産したものを大量に仕入れた方が効率的ですが、安定した需要は地域の農業者や漁業者のためにもなるし、子供たちにとっても、地域の食を学ぶ場になると思っています。

《山口》 子供たちが鶴岡の食文化に触れるために、学校給食で在来作物を使うことは良い考えだと思います。ただ、鶴岡の食文化は家庭料理で、行事食もその一つです。それを伝えていくのは、各家庭であり、また市民一人ひとりだと私は思っています。

《市長》 祭りや風習といった伝統が廃

れてしまうと、行事食等の食文化は次の世代につながっていきません。各集落や家庭で伝統を守っていつてもらいたいです。私は、子供とお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、家族みんなで一緒に食卓を囲む機会を設けることも伝統を守る方法の一つだと思います。

### なぜ、発信するの？

《本間》 だだちや豆や温海かぶなどは知名度も高く皆さん食べたことがあると思いますが、ほとんど知られていない在来作物もあります。

《山口》 在来作物は鶴岡の食文化の大きな魅力の一つだと思います。鶴岡でなければ採れない、鶴岡でなければ育たないという希少性はもちろんですが、在来作物を守っている人の思いや姿勢なども付加価値につながっていると思います。

《五十嵐》 在来作物は、先人が種を守り継いできた鶴岡の宝だと思います。中でも、だだちや豆は鶴岡の気候や風土でしか、本来の味が出せないと言われています。品種改良したほかの枝豆と違って、病気にも弱いため栽培が難しいですが、この種を守り、さらに次の世代につなげていくことが私たちの使命だと思っています。

《本間》 多くの農業者が、在来作物は手間が掛かり、大変だと言います。できるだけ高い値段で仕入れたいと思う

「大黒様のお歳夜」の行事食



寒鰯汁



鶴岡の食文化を紹介するレシピ集



ミラノ万博へ出展



インバウンド(訪日外国人旅行) 観光レセプション(招待会)開催



ユネスコ創造都市国際交流企画展へ出展



イタリア食科学大学と戦略的連携協定締結



イタリア食科学大学と交流

のですが、仕入れ値が高くなれば、商品の価格も高くなります。在来作物ではない普通の野菜を使った商品との価格差を消費者に納得してもらう必要があります。そのためには、在来作物が京野菜や加賀野菜のようにブランドとして確立され、消費者に認知される必要があります。

《五十嵐》 採れ立てのただちや豆を鶴岡の加工施設でボイル・急速冷凍した「冷凍ただちや豆」は、旬のおいしさを手軽に楽しめるので、年々注文が多くなっています。旬の時期だけでなく加工品を通して、通年、鶴岡の農産品をPRしていければと思います。

《本間》 在来作物は全国的にも注目を集めつつありますが、ユネスコへの加盟認定もあり、鶴岡はほかの都市よりも先行しているので、ブランドを確立できるとしています。これからのように内外に対して魅力を発信していくのが勝負だと思っています。

《市長》 確かに京野菜、加賀野菜は日本を代表するブランド野菜になっています。ただ、素材の良さでは本市の在来作物は負けていません。種を保存するため、品種改良して生産性を上げることができないといった困難があると思います。何とか克服してほしいです。

また、今はフェイスブックやツイッター等のソーシャル・ネットワークキング・サービスを活用すれば、誰でも世界に向け情報発信できます。ブランド

確立に向け皆さんからも、ここでしか食べられない在来作物の魅力を発信してほしいと思います。

### 鶴岡に来ませんか

《市長》 本市は、昨年十一月一日に農林水産省が新設した「食と農の景勝地」に認定されました。これは、特徴ある地域の食とそれを生み出す農林水産業を核として、外国人などを誘致する特に優れた取り組みを、国が認定するものです。全国の四十四地域が申請し、本市を含めた五地域が認定されました。本市の食文化や風土は、外国人でも十分楽しむことができると、国がお墨付きをくれたのです。

これから少子高齢化に伴う人口減少が進んでいくことを考えると、観光振興、特に外国人観光客の誘致に取り組んでいく必要があると思います。

《五十嵐》 ミラノ万博でただちや豆が世界一の枝豆という高い評価を受けたので、どんどん輸出していこうという声があります。確かにそれも鶴岡の農産物をアピールする一つの方法だと思いますが、鶴岡の農産物のおいしさを伝えるには、鶴岡に来てもらって、旬の新鮮な農産物を食べてもらうのが一番だと思います。

《庄司》 ユネスコへの加盟認定以降、外国人の観光客も少しずつ増えていて、声を聞くなど直接の評価をもらう機会が増えていけると実感しています。食と



伊関 敦 氏  
漁業者・旅館



魚種の豊富さは庄内浜の特長の1つ。新鮮でおいしい、季節ごとの旬な魚が食べられます。

大瀧 慎 氏  
日本料理人



伝統的な郷土料理や在来作物が魅力。良さを守りながら、新しいものを作りたいです。

玉谷 貴子 氏

フードアナリスト・庄内浜文化伝道師



四季折々の海の幸と里の幸が家庭に根付き、種を守りながら受け継がれていることが魅力です。

難波 恵美 氏

行沢とちの実会代表



栃の風味が特に強く感じられる「行沢のとちもち」。ほかでは味わえない里山の恵みです。

渡部 賢 氏

日本料理人・農業者



家族から、そして地域から学んだ「食」が、味覚として生きているところが魅力だと思います。



「食と農の景勝地」ロゴマーク

農の景勝地の認定も追い風になってくると思いますし、行政からは、今まで以上に、外国人が直接鶴岡の食文化に触れる機会を増やしてほしいと思っています。

《本間》 鶴岡には伝統的な文化と食とが深く関わっているものがたくさんあります。出羽三山と精進料理、黒川能と凍み豆腐などは分かりやすい例です。よね。それぞれの魅力の一つにつき合わせ、鶴岡をアピールできれば観

光客の誘致にもつながるのではないのでしょうか。

《庄司》 観光客の誘致を考えたとき、出羽三山は鶴岡の大きな魅力の一つですが、雪で季節が限定されてしまうという課題もあります。明治になくなってしまいましたが、金峯山は金峯修験の聖地でした。また、摩耶山など精神文化が残っている山もあるので、出羽三山とそれらを合わせて、観光コースを作れたらと考えています。そして、

それぞれの地域で提供する料理を少しずつ変えるなど、食の棲み分けをすれば、鶴岡に何日でも滞在できる仕組みになると思います。

《山口》 ふうどガイドの仲間と、外国人に食文化の魅力を英語で伝える取り組みをしています。由良地区で、外国人と地元の方と一緒に、庄内浜で水揚げされるノロゲンゲやハナタレを調理する体験型の催しを企画しましたが、手応えを感じています。一緒に食事も

したので人と人とのつながりが生まれました。こういったつながりが更なる交流の拡大に結び付くのだと思います。食文化が地域活性化につながるような仕組みができればいいですね。

《庄司》 先日、台湾からの旅行者が宿泊した際、藤沢かぶの収穫体験や料理教室などを行ったのですが、とても好評でした。鶴岡の食文化の魅力は外国人にも十分に通用することを実感しましたし、外国人向けの観光の売りになると感じました。

あと、日本酒も鶴岡の食文化を語るときに欠かせないと思います。醸造技術が高くて、市内のどの酒蔵の、どの銘柄を飲んでもおいしいです。世界中に日本酒ファンはたくさんいるので、ここではか飲めない銘柄を出すなど、どんどん魅力を発信して鶴岡に呼び込めたらと思います。

《市長》 庄内柿やだちや豆、砂丘メロンなど、本市の農産物や特産品は市場で高い評価を受けています。しかし、消費者にはその評価が届いていないのが現状です。トップセールスなどを含め、市でもPRしていきますが、皆さんからも協力していただきたいと思っています。

鶴岡の食べ物をPRするには食べてもらうことが一番で、食べてさえもらえれば食味の良さは間違いありません。機会あるごとに鶴岡以外の場所で試食してもらおうのも一つのPR方法だと思います。「これは鶴岡産です。鶴岡に

一言で教えて！

あなたが思う

# 鶴岡の食文化の魅力!!

私は、...

相沢 政男 氏  
酒造会社社長



バラエティに富んだ酒蔵と鶴岡料理の調和。いにしへの食文化にも新しい価値が眠っています。

池田 真知子 氏  
湯野浜温泉旅館若女将



鶴岡は自然豊かで食材も豊富です。自然と対話しながら、一番食べ頃のものを提供します。

帯谷 伸一 氏  
食肉加工会社社長



鶴岡は食材の宝庫。素材そのものおいしさを引き出すことを心掛けています。

齋藤 美恵 氏  
黒川能の里の会会長・農家民宿



黒川能の里で育み、受け継がれてきた食文化。祭りとともに味わってほしいです。

鈴木 重作 氏  
漁業者



優れた食材の価値を知り、その価値を発信し続けることで、おのずと道は開かれると思います。

早坂 一広 氏  
羽黒山伏・宿坊



出羽三山の自然の恵みを味わう精進料理は、羽黒修験道の精神性を表現しています。

森 薫 氏  
宝谷そば代表



地元で育てたそばを原料とした、ひき立て、打ち立て、ゆで立ての「宝谷そば」。自慢の一品です。

若松 邦彦 氏  
あつみ観光協会会長



温海地域に根付く、固有の海の幸・山の幸・伝統文化は、多くの観光客から喜ばれています。

## 鶴岡の文化を生かす

来れば一番おいしく食べられますよ」と伝えれば、印象深く心に残ると思います。

《本問》 鶴岡には磨けば光る原石がたくさんあると思います。あとは磨き方次第ではないでしょうか。先人たちから受け継いできたものの良さを守りながら、時代や相手に合わせて変化を加えるという視点も大切だと思います。

《庄司》 鶴岡に来た方が望むものと、私たちが提供するものを引き合わせるためにも情報発信が大切ではないでしょうか。

《市長》 合唱や読書もそうですが、鶴岡には潜在的に豊かな文化性と、それを培う風土が備わっていると思っています。その土台となっているのが、出羽三山に象徴されるような精神文化や、藩校・致道館の自学自習の精神だと感じます。

食文化創造都市は、鶴岡の未来を創造する成長戦略「鶴岡ルネサンス宣言」の一つに掲げる創造文化都市の目玉の取り組みです。食文化を切り口として、鶴岡のあらゆる文化を生かして、市民の皆さんが生き生きと暮らせる、活力あるまちづくりを進めていきたいと思っていますので、皆さんのお力添えをよろしく願います。本日はありがとうございます。

《一同》 ありがとうございます。



◀市制施行10周年記念誌『新編庄内史年表』を発売(3月1日)  
原始時代～平成26年の鶴岡市域を中心とした出来事約1万1,000項目が掲載されています



◀42年ぶりに「みゆき通り」の一方通行解除(3月1日)  
中心商店街の活性化や中心市街地へのアクセス向上のため規制が解除され対面通行が可能になりました

3月 2月 1月

- 31日 「鶴岡市国際観光推進」を発行
- 30日 鶴岡まちづくり塾黒羽グループが『おもてなし観光ガイドブック』を発行
- 25日 消防署北分署を移転、業務開始
- 25日 鶴岡まちづくり塾鶴岡グループが『学校給食発祥のまちつるおか給食今昔物語り』を発行
- 22日 国立がん研究センターの研究連携拠点が本市へ設置される方針が決定
- 1日 朝日庁舎で朝日地域福祉ワNSTトップサービスを開始
- 26日 「伝統と革新を紡ぐ『鶴岡シルク』とシルクタウン・プロジェクト」と題してふるさと名物応援宣言を発表
- 12日 朝日中学校新校舎のしゅん工式を開催
- 10～16日 イタリア食科学大生が来鶴。鶴岡の食文化を学ぶ
- 31日 鶴岡食文化みらい創造ワークショップを開催
- 30日 月山ジオパーク構想シンポジウムを開催

# 振り返る

去年はどんな1年でしたか？  
ここで、鶴岡市の去年の主な出来事を振り返ってみましょう。

10月 9月 8月

- 7日 ラフォア市・鶴岡市友好都市盟約20周年記念
- 17日 慶應義塾大学先端生命科学研究所15周年記念シンポジウムが開催
- 16日 鶴岡第三中学校改築工事の安全祈願祭を開催
- 10・12日 天皇皇后両陛下が加茂水族館、松ヶ岡開墾場をご視察、鶴岡アートのフォーラムでご会食
- 10・11日 第36回全国豊かな海づくり大会くやまがたが開催
- 7日 リオデジャネイロパラリンピックが開会(～18日)
- 29日 市道赤川土手線が通年車両通行止めに
- 5日 リオデジャネイロオリンピックが開会(～21日)
- 1日 名寄市・鶴岡市姉妹都市盟約20周年記念式典に参加
- 20日 鶴岡市、荘内銀行、北茨城市、筑波銀行が観光・地域経済の活性化、地域資源の活用に向け連携協定を締結



◀「食と農の景勝地」に認定(11月1日)  
全国で5地域が認定。「ユネスコ食文化創造都市で体感する食と風土」をテーマに、鶴岡食文化のPR・誘客強化を図ります



◀パリ・ユネスコ本部等でインバウンド(訪日外国人旅行)プロモーション事業を展開(10月17日～21日)  
出羽三山の精神文化の紹介、和菓子づくりの実演などを通して鶴岡をPRしました





◀鶴岡job caféを東京で初開催（7月17日）

本市へのUターン就職を希望・検討している方を対象に開催。企業ブースや移住相談ブース等では活発な交流が行われました



◀出羽三山が日本遺産認定（4月27日）

日本遺産の認定は県内初。出羽三山の雄大な自然や、羽黒山五重塔、六十里越街道などを基にしたストーリーが評価されました

7月

6月

4月

- 16日 市指定有形文化財「日向家住宅」を移築・復元した丸岡城跡史跡公園ガイダンス施設「楽朋館」が開館
- 10日 選挙権が開始
- 2日 加茂水族館リニューアル後の入館者が150万人を突破
- 21日 出羽三山「生まれ変わりの旅」推進協議会設立総会を開催
- 14日 本市が東京オリンピック・パラリンピックでのドイツ連邦共和国のホストタウンに決定
- 14日 熊本地震が発生
- 1日 大網小があさひ小に統合
- 1日 栄小・山戸小が統合し「あつみ小学校」が開校
- 1日 温海小・五十川小・福栄小が統合し「広瀬小学校」が開校
- 31日 「鶴岡市地域公共交通網形成計画」を策定
- 31日 「出羽三山1400年の歴史と未来を語る」を開催
- 31日 「鶴岡市地域福祉計画」を策定
- 31日 「行動計画」を策定

# 鶴岡の2016年を

12月

11月

- 21日 「早稲田大学総合研究機構と鶴岡市とのまちづくりに関する協定」を締結
- 9日 本市が東京オリンピック・パラリンピックでのモルドバ共和国のホストタウンに決定
- 8~10日 イタリア食科学大学連携フィールドスタディーツアー、公開シンポジウム等を開催
- 7日 羽黒町狩谷野目の羽黒中央地区浄化センターで流し初め式を開催
- 7日 イタリア食科学大学と戦略的連携協定を締結
- 2日 消防署羽黒分署を移転、業務開始
- 28日 藤島歴史公園の愛称が「Hisu花」に決定
- 27日 市内荒沢の一般県道鶴岡村上線笹根トンネルが開通
- 26日 「出羽三山1400年の歴史と未来を語る」を開催
- 12日 東洋大学社会学部「庄内藤島調査」10周年記念講演会を開催
- 12日 祝賀会を開催



◀新羽黒庁舎が完成（11月9日）

消防署羽黒分署・図書館羽黒分館も併設。庁舎機能を複合化することによって、利便性の向上と地域の拠点となることを目指します



◀日本海沿岸東北自動車道朝日温海道路の工事安全祈願祭が開催（11月5日）

早期開通に願いを込め、国や県、自治体の関係者らがくわ入れ。本線工事の着工を祝いました

市政



公立保育園 保育士・看護師(臨時・パート)募集

登録資格 保育士または看護師資格をお持ちの方 募集人数 若干名  
申履歴書と資格証の写しをお持ちの上、本所子育て推進課 ☎内線180へ 他  
申込み時に臨時職員登録が必要

朝日地域振興カレンダー広告募集

同カレンダーに有料広告を掲載する事業者等を募集します。



平成27年度同カレンダー

■規格 B  
2判(表面に4月、9月を、裏面に10月、来  
年3月を掲載) ■発行部数 1、4  
00部(同地域全戸及び公共施設等に  
配付) ■広告規格・募集数 ①日付  
欄(縦32mm×横33mm)：46枠、②日付  
欄外(縦140mm×横110mm)：2  
枠 ■掲載料 ①1、000円、②1  
万円 申 鶴岡市広告掲載要綱、鶴岡市  
朝日地域振興カレンダー広告掲載要領  
を確認の上、1月27日☎まで広告掲載  
申込書(関係書類を添付)を朝日庁舎

総務企画課 ☎内線339へ 他市HP。  
広告掲載の決定後、指定する期日まで  
広告原稿(電子データの場合はJPE  
GまたはGIF形式。作成及び費用は  
広告主の負担)を提出してください

健康・福祉



「はたちの献血」キャンペーン  
二十歳の君が「つなげる命」

病気の治療・手術など医療の現場では輸血用血液が多く使われています。尊い命を救う輸血用血液は人工的につくられず、長期間の保存もできないため、特に、献血者が減る冬の輸血用血液の在庫確保が重要です。成人を迎える皆さんの献血に対するご理解とご協力をお願いします。

☎2月28日☎まで 健康課(にこふる) ☎内線362 他献血実施日や場所等はHP

特定健診、大腸がん検診、呼吸器検診  
集団健診の最終日程

☎2月6日☎・10日☎・13日☎・15日☎  
午後1時30分〜2時30分 場総合保健福祉センター(にこふる) 対地域  
の集団健診を受けていない方 健康課 ☎内線366または各地域庁舎市民福祉課へ

ウイルス性肝炎は感染による肝臓の病気で  
肝炎ウイルス検査を受けましょう

次に当てはまる方や肝炎ウイルス検査を受けていない方は検査を受けま

よう。▽平成4年以前に輸血を受けた  
▽大きな手術を受けた ▽フィブリノ  
ゲン製剤を投与された ▽臓器移植を  
受けた ▽ボデイピアスをしている  
▽健康診断等で肝機能の異常を指摘さ  
れ、その後精密検査を受けていない  
☎2月4日☎・7日☎・9日☎・18日  
☎ 場 庄内地区健康管理センター 対

子宮がん・乳がん検診を  
積極的に受けましょう

医学の進歩によってがんを早期に見すれば、治る確率も高くなっています。検診で症状が出ない初期のがんを発見することが重要です。

対 ①子宮がん検診：今年度20歳以上になる女性の方 ②乳がん検診：今年度40歳以上の偶数年齢になる女性の方(人間ドック等で市が実施する検診を受けた方または受ける予定の方を除く) 持 受診券 健康課 ☎内線366または各地域庁舎市民福祉課へ 他 生活保護・市民税非課税世帯の方に減免制度あり(要事前申請)

困りごとなど気軽に相談ください  
民生委員児童委員のお知らせ

次の方が委嘱されました。(敬称略)  
▽第2民生区(第二学区)：五十嵐卓

税



固定資産税に関する申告はお早  
目に(申告は1月4日☎から)

(昭和町第1・第2) ▽第3民生区(第三学区)：門野博子(若葉町東部、鷹匠町)、阿部由美子(馬場町) ▽第6民生区(第六学区)：本間克史(みどり町1区) ▽第12民生区(豊浦地区)：齋藤淳子(三瀬4区) ▽羽黒地区(羽黒地域)：榎本光男(河原、中屋、榎東、松尾、桜野)、加藤均(高寺下馬渡、石野新田)、佐藤実(狩谷野目、中島)、福定葉子(赤川、希望ヶ丘三ツ橋、緑ヶ丘) ▽櫛引地区(櫛引地域)：菅原秀子(上山添) 本所福祉課 ☎内線139

償却資産の申告

事業を営んでいる個人や法人で、毎年1月1日現在で償却資産を所有する方(申告書送付済み。eLTAX(地方税電子申告システム)で申告している方)にはお知らせを送信します。他申告書が届いていない場合でも申告資産がある方は申告してください。市HP

土地・家屋利用状況の変更の申告

平成28年中に、▽建物了解した方 ▽非住宅用地(更地を含む)の宅地に住宅を建築した方 ▽前年までに農地の土地を購入し造成した宅地に住宅を建築した方 ▽火災・天災等で住宅が滅失または損壊するなどやむを得ない事情でその宅地を住宅用地として利用できない方 ▽土地・家屋の用途を

# イタリア食科学大学と本市が戦略的連携協定を締結

☎本所食文化推進室 ☎内線527

## ◆これまでの経緯とこれからの展望

平成27年10月のミラノ国際博覧会出展を機に、イタリア食科学大学との食文化交流が始まりました。昨年2月に12人の学生が食文化を学び体感するため本市を訪問。今年2月・5月にも訪れることが計画され、こうした交流をきっかけに「海外の視点から鶴岡食文化の価値を深めること」、「本市が日本の食文化を学ぶ重要な拠点となること」を目指し、昨年12月7日に同大学と3年間にわたる戦略的連携協定を締結しました。今後、この協定に基づき同大学生等の研修受入れや食文化体験プログラムを構築し、市民との食文化交流や研究教育機関等との共同研究へ展開していきます。



## ◆イタリア食科学大学（ピエモンテ州ブラ市）とは

スローフード協会の創設者で会長のカルロ・ペトリニ氏が考案した「食科学（ガストロノミック・サイエンス）」を専門とする世界で初めての私立大学。70か国から約1,600人の学生が学び、世界中で活躍しています。

## ◆協定締結の目的

○相互の連携交流から、鶴岡の世界的なブランド力の向上と地域の食文化の保存・伝承を図るとともに、世界から「鶴岡の食文化」を学ぶプログラムを展開する

## ◆協定の内容

- ①3年間イタリア食科学大学の学生等の研修受入れを行う
- ②同大学は、大学院等の学生を鶴岡市へ派遣し、市民との食文化における共同活動を行う
- ③ユネスコ食文化創造都市としての市民活動及び市内高等教育研究機関との共同研究について協力する

## ◆最新の取り組み情報

### ■「鶴岡と世界の食文化を学び、世界とつながろう」

#### ①国際「食のカンファレンス」in鶴岡（昨年12月9日）

「世界と食文化でつながろう」がテーマのシンポジウム・ワークショップ。大黒様のお歳夜の話やイタリア食風に調理した行事食の試食など、世界から見た鶴岡の食文化を体感しました。



#### ②市民体験型ワークショップ（10日）

イタリアの学校給食の試食や日本とイタリアの生ハムの食べ比べ、様々な食材で作ったチョコレートのクイズ等食べて楽しむ催し。親子連れなど、多くの市民でにぎわいました。



鶴岡					住宅名	間取り等	戸数
大西住宅	東部住宅	稲生住宅	美原住宅	ちわら住宅			
3階・3DK	3階・3DK	3階・2LDK (高齢・障害者向け)	3階・3K	2階・3DK (子育て向け)	3DK (子育て向け)	3	1
1	1	1	1	1	1	1	1

## 市営住宅等入居者募集

## 生活・その他



▼転作等による地目変更の申告 **対**▽  
果樹などの永年性作物に転換した田▽  
▽かんがい、たん水設備がなく用水で  
きない状態の田  
▼認定長期優良住宅の新築軽減措置の  
申告 **対**平成28年中に新築した認定長  
期優良住宅  
▼共通 ■申告期限 1月31日 **場**  
・償却資産の申告：本所課税課 **内**  
線2422 その他の申告：同課 **内**線  
209

## 給与支払報告書の提出に当たっ てのお願い(平成28年中支払分)

提出には個人番号または法人番号の記載が必要です。また、支払者が個人事業主の場合は、個人番号確認と身元確認書類の提示が添付が必要です。1月31日 **場**まで本所課税課 **内**線201へ。

閏藤島庁舎総務企画課 **内**線215

「Hisu花」  
昨年が開園した同公園の愛称は応募総数164作品の中から「Hisu花」に決まりました。この愛称には「藤島歴史公園は、東田川文化記念館に象徴されるように歴史を刻んできた場所であり、これからは藤島のシンボルである『藤の花』の歴史も積み重ねられ『歴史と花があふれるユートピア』のような公園として、多くの人に愛されながら歴史を刻んでほしい」という願いが込められています。たくさんのご応募ありがとうございます。

## 「Hisu花」(ヒスカ)

閏消防本部予防課 **内**線22・8332

昭和24年のこの日、奈良県法隆寺の金堂から出火し、国宝の壁画が焼失しました。国民共通の貴重な財産である文化財を火災、震災などの災害から守るため、全国的に文化財の防火運動が展開されます。地域ぐるみで文化財を災害から守りましょう。

## 1月26日 **場**は文化財防火デーです 文化財を火災から守ろう

入居時期 3月中旬以降 **申**1月4日 **場**19日 **場**に本所建築課 **内**線483または各建設事務室(羽黒・温海庁舎)へ

温海	羽黒	鶴岡
柳原住宅	ふじなみ住宅 (藤島地域)	大山住宅 (高齢・障害者向け)
3階・3DK	平屋・3LDK (子育て向け)	1階・2DK (高齢・障害者向け)
1	1	1

# まちのできごと



## ほっとトピックス



<総合保健福祉センター(にこ♥ふる)>

### 鶴岡 鶴岡ナリワイプロジェクト「ナリワイ実践道場」成果発表会

11.26

好きなこと・地域に役立つこと等を掛け合わせ、小さく起業（ナリワイづくり）する人を応援するプロジェクト。女性9人・男性3人が自分の

目指すナリワイと成果を発表しました。実践者の個性が光るナリワイを体験できるワークショップも行われ、訪れた人々で大にぎわいでした。



<鶴引公民館>

### 鶴引 MあんどB 人形劇公演

11.18

子供たちへの絵本読み聞かせの一環として同館が主催。人形のコミカルな動きと愉快な物語に幼児たちは夢中です。



<庄内小国川漁業生産組合ふ化場>

### 温海 あつみ小学校 天魄山森林自然教室

11.18

「捕まえた！」暴れるサケを力強く抱える児童たち。サケの生態や森と水の関係を通して、身近な自然循環を学びました。



<出羽庄内国際村>

### 鶴岡 日本語スピーチコンテストin庄内

11.20

庄内地方に住む6か国12人の外国出身者が、自国と日本との文化の違いや日本に住んで良かったことなどを発表しました。



<創造の森交流館>

### 羽黒 村芝居がやってくる「劇団夢一座」公演

11.20

歌謡舞踊ショーや、笑いあり涙ありの大衆芝居が繰り広げられ、会場は大盛り上がり。観客は楽しい時間を過ごしました。



<東田川文化記念館>

### 藤島 庄内農業高校定期演奏会

11.23

合唱部の美しいハーモニーと書道部の力強い作品の共演。生徒たちの熱い思いが1つになって伝わってきます。



<いでは文化記念館>

### 羽黒 日本遺産シンポジウムin山形

11.26

基調講演やパネルディスカッションが行われ、参加者は日本遺産・出羽三山を生かした地域づくりへの理解を深めました。



<荘内神社参集殿>

### 鶴岡 除雪結団式

11.29

「力を合わせて除雪します！」本格的な降雪を前に、市と除雪業者が、鶴岡の雪道の安全を守る決意を新たにしました。



<藤島地区地域活動センター>

### 藤島 鶴岡人権啓発フォーラムインふじしま

11.30

直木賞作家の志茂田景樹さんが、自身のいじめを乗り越えた経験などを講演。参加者と一緒に人権について考えました。

# つるおか Information 情報掲示板

注) 掲載情報の詳細は、問合せ・申込み先にお問い合わせになるか、ホームページ等でご確認ください。  
費がないものは原則無料。用があるものは事前の申込みが必要です。

■掲載を希望する方は…本所総務課 ☎内線316へ  
掲載依頼締切日は発行月の前々月25日です。市内で開催され、対象となる市民が多いものを基本的に優先。編集の都合上、掲載できない場合もあります。掲載することが不相当と市が認めるものは掲載できません。

## 催し



### 江戸時代の絵画と書せきの展示 〈近世の絵画と書讀 導の思の繋ぐ〉

日1月24日④まで 開午前9時〜午後4時30分 費大人：700円 学生：380円 小・中学生：280円 場  
・岡致道博物館 ☎22・1199 他HP

### 藤沢周平没後二十一年特別 企画展〈藤沢作品の世界〉

日1月5日④〜11月28日④午前9時〜午後4時30分 (2月6日④〜10日④は臨時休館) 費大人：320円 高校生・大学生：200円 中学生以下：無料 場・岡藤沢周平記念館 ☎29・1

880

### はし乗りまじり振り、消防団員・車両の分列行進 消防出初式

日1月8日④午前10時 場市役所本所前 岡消防本部警防課 ☎22・8320  
他午前10時〜11時の間、県道47号線市役所本所前・鶴岡商工会議所周辺・鶴岡橋通行止め。バス経路の一部変更については庄内交通 ☎22・2600へ

### 鶴岡市新春囲碁大会

日1月9日④午前10時 場勤労者会館  
対Aクラス：4段以上 Bクラス：3段以下

### 消防防災をテーマに消防職員が発表 消防職員意見発表会

日1月12日④午後1時30分 場・岡消防本部総務課 ☎22・8330

### 写真・絵画・俳句・木版画 ちぎり絵等の展示 中央公民館新春文化展

日1月14日④〜18日④午前9時〜午後4時30分 (18日④は午後3時まで) 場・岡同館 ☎25・1050 他茶席  
(日14日④：煎茶席、15日④：抹茶席 時午前10時 定各先着150人)

### 温海旬御膳 〜冬のごちそうおめくり〜

日1月14日④〜2月28日④ (3日前まで要予約) 場・費温海地域各温泉旅館：3,000円 同地域各飲食店：2,500円 岡あつみ観光協会 ☎43

3547 他HP

### 真冬の山里暮らし体験 大鳥の現 役猟師とウサギの巻狩りをしよう

日1月15日④午前10時〜午後2時30分 対小学4年生以上20人 内雪山で巻狩り体験、ウサギ汁の試食 費大人：2,000円 中学生以下：1,000円 場・申1月11日④まで大鳥自然の家

### 「雪の降るまちを」 鶴岡冬まつり

▼日本海寒鰯まつり 日1月15日④午前10時30分〜午後3時 場鶴岡銀座商店街 内鰯汁販売(600円)、日本海荒波太鼓、おきつねはんまつり、新潟・北茨城・秋田・石巻の観光と物産展 岡同まつり実行委員会 ☎22・2202  
▼鶴岡市合唱祭 日1月22日④午後2時 場中央公民館 内ゲスト 吉田浩之氏(テノール)、丸山滋氏(ピアノ) 費3000円 岡鶴岡市合唱連盟 ☎25・0779  
▼鶴岡音楽祭2017 日2月5日④午後1時30分 場中央公民館 内特別ゲスト 中田幸子氏(故中田喜直氏夫人) 内ゲスト 河野克典氏(バリトン)、高橋薫子氏(ソプラノ)、江澤隆行氏(ピアノ)、鶴岡北高校音楽部、鶴岡三中合唱部、齋小ミュージックペル隊ほか 費大人：2,000円 高校生以下：1,000円 岡本所観光物産課内鶴岡冬まつり実行委員会 ☎内線545

▼大山新酒・酒蔵まつり 日2月11日

④ 大山4蔵元厳選8種飲み比べ 時午前10時〜正午 場大山コミュニティセンター 費1,200円 内おまつり広場 時午前11時〜午後4時 場出羽商工会大山支所 内特産品販売、お食事コーナー、酒蔵めぐり券でお酒振る舞いまたは酒まんじゅうプレゼント 内酒蔵めぐり 時正午〜午後4時 場各酒造メーカーほか 費1,200円 内大山新酒を楽しむ会 時午後1時30分〜3時30分 場同センター 費2,000円 内共通 岡同まつり実行委員会 ☎33・2117

▼金峯山雪灯籠祭 日2月27日④午後6時〜9時 場金峯山中の宮 内雪灯籠点火式、伝統芸能上演 岡同祭実行委員会 ☎23・7863

### 新春キジ汁祭り

日1月15日④午前11時〜午後2時 費前売り券1,200円 場月山あさひ博物館 内月山あさひ振興公社 ☎53・3411 他餅の振る舞い(正午)

### しゃりん寒鰯まつり

日1月22日④午前10時(売り切れ次第終了) 内鼠ヶ関漁港水揚げの鰯を使った寒鰯汁(600円、限定500食)、魚介類の販売 場・岡道の駅「あつみ」しゃりん ☎44・3211

### 発掘!昭和の16ミリ映画会 〜おとなのための名画館〜

日1月23日④・27日④午後2時30分

定 各日先着30人 因 『いのち』『子ども』の心知っていますか』 場・岡中央公民館 ☎25・1050

### 首都圏在住の鶴岡出身者へお声掛けください ヤマガタユナターナミット2017

日 1月28日 ④午後1時30分 場 KFCホール(墨田区) 因 県内の企業経営者や首都圏在住で山形と積極的に関わる人との交流会、山形で暮らす・働くことを考える座談会 申 ヤマガタ未来ラボHP 岡(株)キャリアアクリエイト ☎023・641・8807

### 由良寒鰯まつり2017

日 1月29日 ④午前11時(売り切れ次第終了) 場 由良コミュニティセンター 因 寒鰯汁・水産加工品販売 岡 由良自治会内同まつり実行委員会 ☎73・4141

### 鶴岡藤沢周平文学愛好会 寒梅忌 藤沢周平をしのぶ会

日 1月29日 ④午後1時 場 中央公民館 定 先着450人 因 朗読『秘太刀馬の骨』『春秋山伏記』劇団麦の会ほか 講演「今こそ読みたい藤沢周平」高橋敏夫氏(文芸評論家) 岡 藤沢周平文学愛好会

### アパレル商品アウトレットとシルク製品即売会 シルク&アパレルフェア2017

日 2月4日 ④・5日 ④午前10時30分〜午後5時30分(5日 ④は午後4時30分)

まで) 場 マリカ 岡 山形アパレル工業協同組合 ☎29・7717 他 タイムセール(4日 ④午後5時、5日 ④午後1時・3時30分)

### ここから始まる新たな展開 異業種交流会

日 2月10日 ④午後7時 場 グランドエール・サン 対 市内、三川町、庄内町に勤務の25歳〜40歳の方50人(企業等1社につき2人以上で申込み) 費 2,000円 申 2月7日 ④まで本所地域振興課 ☎内線587へ

### 東田川文化記念館明治ホールコンサート 鎌田邦裕フルートコンサート

日 3月12日 ④午後2時 費 大人:1,500円 中学生以下:無料 場・岡同館 ☎64・2537

## 健康・スポーツ



### 総合保健福祉センター「にこふる」 軽トレーニングルーム利用資格講習会

日 1月12日 ④午後1時30分 場 にこふる ④18歳以上(高校生を除く)の方先着30人 費 210円 申 健康課(にこふる) ☎内線370

### 不安を軽減し、今後の暮らしに備えるために 認知症を理解する教室

日 1月14日 ④午前10時 場 にこふる ④講演「認知症を知る」丸谷宏(荘内病院神経内科主任医長)、ワンポイントアドバイス 申 1月11日 ④まで高齢

者交流センター ☎29・4180 または健康課 ☎内線364へ

### 競技力向上とけがをにくく体づくりを目指す フィジカルトレーニング教室

日・場 1月20日 ④午後6時30分:櫛引スポーツセンター、21日 ④午前10時:あつみ小、2月18日 ④午後2時:羽黒体育館、19日 ④午前10時:朝陽武道館 3月4日 ④午後2時:藤島体育館、5日 ④午前10時:朝日スポーツセンター 対 市内在住の小学生・中学生(スポーツ指導者の参加も可) 師 石井裕子氏(SAQレベル2インストラクター) 岡 鶴岡市体育協会 ☎25・8131

### 健康について一緒に考えてみませんか つるおか健康塾

日 1月21日 ④午後1時30分 ④「腹腔鏡下手術のお話」坂本薫(荘内病院外科主任医長)、「認知症のお話」富樫千代美(同院認知症看護認定看護師) 場・申 同院内緩和ケアサポートセンター 鶴岡・三川 ☎26・5180

### 東京オリンピック・パラリンピックに向けて 鶴岡ホストタウン推進事業スポーツ講演会

日 1月22日 ④午前10時 場 グランドエール・サン ④「リオから東京へ」水鳥寿思氏(アテネオリンピック体操男子団体金メダリスト) 岡 スポーツ課 ☎25・8131

### 生涯スポーツ研修会

日 1月29日 ④午後1時30分 場 第四学

区コミュニティセンター ④各学区・地区・地域体育協会関係者、スポーツ推進委員 ④研修会「おばあちゃんたちの体力がすごいことになっている」健康寿命を延ばす地域の体協活動、介護予防のヒント」星俊寛氏(NPO法人エンジョイスポーツクラブ魚沼)、交流会(1、500円) 申 1月13日 ④までスポーツ課内鶴岡地区体育協会連絡協議会 ☎25・8131へ

### 氷上綱引き大会参加者募集

日 2月5日 ④午前9時 場 小真木原スケート場 ④一般の部(中学生以上男女混合)・ジュニアの部(小学4年〜6年生)各1チーム5人 費 1チーム500円 申 1月27日 ④正午まで鶴岡市体育協会 ☎24・5060へ

### オール田川卓球大会 (男女シングルス)

日 2月5日 ④午前9時 場 小真木原総合体育館 ④予選リーグ、決勝トーナメント 岡 鶴岡卓球協会 他 HP

### てくてく健康「里山あるき」庄内平野を望む雪上かんじきウォーク

日 2月12日 ④午前8時(送迎バス市役所本所発(要予約)) 場 月山ビジターセンター↓羽黒山開拓↓旧月山登山道↓荒澤寺↓起点(約5km) ④深雪を歩くことができる方100人(小学生以下は保護者同伴) 費 1,200円(現地集合(同センター)午前8時40

分)の場合は1、000円。かんじきレンタルは別途300円) 持かんじき、スキー用ストック、軽食、おわん、箸等 ①1月30日②2月6日③にスポーツ課 ☎25・8131へ 他積雪によってコースを変更。ウォーキングビング対象事業

温海さくらマラソン大会  
参加者募集

④4月23日⑤午前9時 場あつみ温泉街 対つぼみ(2km)・さくら(5km)・あかかぶ(10km)・ジャイアント(30km) コース合計先着1、700人 費 大人:5、000円 小・中学生、高校生:1、500円 申専用振替用紙:1月18日⑥まで同用紙で入金 インターネット:2月15日⑦までRUNNETHPで申込み 問温海ふれあいセンター内「同大会」事務局 ☎070・6614・5030 他HP

冬の運動不足を解消しませんか  
鶴岡市民健康スポーツクラブ参加者募集

日・内月曜日:ソフトバレーボール、バドミントン、ラージボール卓球、火曜日:脂肪燃焼エアロ 水曜日:いきいきヨーガ 木曜日:ソフトエアロ金曜日:ソフトバレーボール、ラージボール卓球 土曜日:ストレッチ&ダンス 日 午後10時 場小真木原総合体育館、朝陽武道館等 費 1万5、000円(月払い2、000円、登録料別途2、000円、無料体験1回) 申同クラブ ☎25・8131 他午後・夜のコースあり

子育て・子供向け

中央児童館ひろっぴあ

▼昔遊びと昭和の時代にタイムスリップ?! ①1月7日②午後2時~3時 対幼児とその保護者、小学生 内おじいさん、おばあさんから遊びを習う ③ひろっぴあdeクッキング ④1月29日⑤午後2時 対小学生とその保護者 先着24人 内バナナブレッドとスムージーづくり 師海藤道子氏(酒田調理師専門学校講師) 費300円 申1月4日⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

西部児童館

▼ゆめつくり映画会 ①1月14日②午後2時 場同館 対幼児とその保護者、小学生 内「14ひきのさむいふゆ」「たまごにいちばん」 ③自然体験「冬のほどりあ野鳥観察に出かけよう」 ④1月28日⑤午前10時(西部児童館集合) 場ほとりあ 对小

学生先着20人 内野鳥観察と渡り鳥のしおり制作 ①1月4日②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

ままルーム1月の講座  
「トイレトレーニング」

①1月20日②午前10時30分 師保育園長 場・園同ルーム ☎24・5635

大山児童館「かんたん、おいしい燻製つくろい」

①1月21日②午前10時 対小学生15人(保護者の参加も可) 場・申1月4日③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

うですも大会

①1月21日②午前10時30分 場陽光児童館 対幼児と小学生とその保護者 申同館 ☎64・8640または西部児童館 ☎29・0031へ 他参加賞あり

妊娠したら…パパママ教室

①1月22日②午後1時30分 場総合保健福祉センター(にこふる) 定先着25組 内夫婦で体験(赤ちゃんの心音

を聞いてみよう、妊婦シミュレーション、お風呂入れ)、講話「妊娠中からの心がけ」産婦人科医師 持母子健康手帳 申健康課(にこふる) ☎内線373

親子で保育園体験「保育園で遊ぼう」Part2

①1月24日②午前10時 場・対▽南部保育園(☎22・0527) 0歳児(平成27年4月~28年7月生まれ)とその保護者3組 ▽かたばみ保育園(☎22・0686) 1歳児(平成26年4月~27年3月生まれ)とその保護者3組 ▽西部保育園(☎23・5646) 2歳児(平成25年4月~26年3月生まれ)とその保護者3組 ①1月17日②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

かたぐるまの皆さんとパン&クッキーを作ろう

①1月29日②午後1時 場かたぐるま対小学生先着20人(保護者の参加も可) 費300円 ①1月10日②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

つるおか森の保育フォーラム

①1月29日②午後1時 場第三学区コミュニティセンター 定先着150人 内講演「『自然』の中で育つ子どもたち」宮武大和氏(札幌トモエ幼稚園教諭)、報告「ワークショップ・親子で里山遊び」、座談会「自然の中での子どもの育ちを考える」、森の恵みの試



食等 申1月4日④から本所子育て推進課内つるおか森の保育研究会⑤内線152へ 他託児あり(先着30人)

### あそびの広場「冬」リズムのつてあそぼう

日1月31日④午前10時 場出羽庄内国際村 ④1歳以上の未就園児とその保護者80組 ④親子リトミック ④小巻千幸氏(ぶらすの会) 申1月24日④まで子ども家庭支援センター(にこふる) ④25・2741へ

### わんぱく自然塾「冬の巻」

日2月4日④・5日④(1泊2日) ④小学生4年生・中学3年生30人 ④冬山登山、チューブ滑り、テント泊等 費3,000円 場・申1月5日④・20日④に金峰少年自然の家④24・2400へ 他HP

### かるた遊びを通して環境を学ぼう! 鶴岡市子ども環境かるた大会

日2月5日④午前10時 場第三学区コミュニティセンター ④幼児・小学生低学年・中学年・高学年の部各1チーム2人、各部門10チーム ④トーナメント 申1月25日④まで本所環境課内環境つるおか推進協議会⑤内線708へ 他市HP

### ひとり親家庭対象 素敵に変身したお母さん、お父さんをおもてなし

日2月12日④午前9時30分〜午後2時 場にこふる ④小学生以上の親子先

着12組 ④好印象を与える眉の整え方やヘアスタイル技術の習得、簡単メニューの調理等 ④まつたわこ氏、鈴木淳子氏 申1月10日④・27日④に本所子育て推進課⑤内線152へ

### 施設の催し等



#### 鶴岡アートフォーラム

▼第4期常設展示「画家と人物」 日1月5日④・3月20日④午前9時〜午後5時30分 ④市所蔵美術作品の展示

▼特別ワークショップ・市民交流プログラム「東北画は可能か?」地方之國構想博物館・鶴岡編「プレビュー展示」わたしたちは、わたしたちのか

けらをつむぐ」 日1月22日④・29日④午前9時〜午後5時(23日④は休館) ④「しきおり絵詞」等のテキストイル(布地・織物) 作品や「東北」をテーマに描いた絵画作品等の展示 ④手織り体験コーナー(28日④まで)

▼「東北画は可能か?」関連イベント体験コーナー「しきおり絵詞手織り布に触れてみよう」 日1月28日④ 午前10時〜正午 ④藤佐藤みき氏(さりをり・リーダーズ・コミュニティ会員)、渡辺綾氏 費300円

▼共通 場・申同館④29・0260



### 創造の森交流館

▼「歩くスキー」用具(スキー板、ストック、靴)の無料貸出し 日1月5日④・3月18日④のうち最長で1週間 ④歩くスキー初心者講習会 日1月14日④・28日④、2月4日④・18日④午前9時30分 ④開催日の2日前まで ④共通 場・申同館④62・2655

### 自然学習交流館ほとりあ

▼里地里山学「江戸時代庄内浜の鯨」 日1月7日④午後1時30分 定30人 ④師前田光彦氏(鶴岡市史編さん委員) 費500円 申1月5日④まで

▼ワークショップ「ほとりあ松葉相撲大会」松の葉でおすもろさんづくり 日1月8日④午前10時、午後2時

▼共通 場・申同館④33・8693

### 中央公民館プラネタリウム

▼一般公開 日1月15日④・21日④、2月4日④ 時・④午前11時:『たいようくんとおつきちゃん』 午後1時30分:『ワンピース プラネタリウム』 定各回先着78人 費3歳以上:60円 高校生以上:140円

▼大人のためのプラネタリウム『星のせせらぎ アクアヒーリング』 日1月15日④・21日④、2月4日④午後3時、1月16日④・18日④午後2時、1月27日④午後7時 定各回先着50人

費高校生以上140円 ④共通 ④冬の星座解説 場・閏同館④25・1050

### 老人福祉センター

日▽編物サークル 1月10日④・13日④・17日④・24日④・31日④、2月3日④・7日④午前10時 ④▽健康相談 1月12日④・19日④・26日④、2月2日④・9日④の木曜日午後1時30分 ④▽CD寄席 1月19日④、2月2日④午後1時 ④▽新年会(費1,300円 申1月20日④まで) 2月8日④午前9時30分〜午後3時 場・申同センター④24・0066

### 月山ビクターセンター

▼お雑様の展示 日2月11日④・3月20日④ 場同館 ④他甘酒の振る舞い ④木端でオリジナルお雑様作り 日2月11日④午前9時 場同館 定先着7人 費700円 申2月9日④まで

▼スノーシュートレッキング 日①2月12日④ ②19日④ ③3月5日④ 時午前9時 場①羽黒山頂↓旧参道↓南谷↓三の坂↓起点 ②羽黒山開拓↓月山やすらぎの森↓同センター ③羽黒山開拓↓庄内町大中島地区 定先着各20人 費各1,500円 持軽食等 申①2月10日④まで ②16日④まで ③3月2日④まで ④他悪天候の場合は内容等を変更

▼キャンドルナイトとナイトスノーシュートレッキング 日2月25日④午後

6時30分 場月山ビジターセンター1周  
 辺 定 先着20人 費 500円 持 携 帯  
 食等 申 2月22日迄まで 他 悪天候の  
 場合は内容等を変更

▼共通 申同センター ☎62・4321

**講座・講習会**



**出羽庄内国際村 外国語講座  
3期講座(1月～3月)**

▼中国語 回・費入門：1月11日～3月15日の毎週水曜日午後7時(全10回)・1万3、000円 初級：1月13日～3月17日の毎週金曜日午後7時(全10回)・1万3、000円 中級：1月7日～3月18日の土曜日午後1時30分(全10回)・1万3、000円 子どものための中国語講座：1月8日～3月19日の日曜日午後4時(全6回)・3、000円 朋友你好！(☆)：毎週木曜日午後7時、毎週土曜日午後3時30分

▼英語 回・費初心者英会話：1月12日～3月16日の毎週木曜日午後7時(全10回)・1万3、000円 レベルアップ中級英語：1月15日～3月5日の日曜日午後6時(全7回)・9、100円 かんばせーしょん喫茶店(☆)：隔週木曜日午後7時、毎週土曜日午前11時30分  
 ▼韓国語 回・費入門：1月13日～3月17日の毎週金曜日午後7時(全10回)・1万3、000円 初級：1月13日～3月17日の毎週金曜日午後7時(全10回)・1万3、000円 韓国と

の出会い(☆)：土曜日午後2時  
 ▼スペイン語 回 アブレモス・エスパニョール(☆)：日曜日午後6時  
 ▼共通 場・申同館 ☎25・3600  
 他各講座受講者3人以上で開講。見学可(要申込み)。(☆)印はフリートタイプ講座・チケット制(5回券2、500円、10回券4、500円)

**古文書解読講座(全4回)**

回 1月14日④・21日④・28日④、2月4日④午前10時 定 40人 師 秋保良氏(鶴岡市史編さん委員) 費 5000円  
 場・申図書館本館 ☎25・2525

**国際理解講座フレンドシップサロン  
マジカル・ケニア**

回 1月15日④午後7時 内 ケニアの文化や自然等の話 師 キマニ・サムエル氏(ケニア出身) 費 飲み物代 場・申出羽庄内国際村 ☎25・3600

**中央公民館女性センター**

▼女性のための就業支援パソコン講座(全13回) 回 2月6日～3月1日の月曜・火曜・水曜日午前9時30分 対 就職を希望する市内、三川町、庄内町に在住の50歳台までの女性先着9人 師 佐藤理沙氏(アスパコンピュータースクール鶴岡校)、原田智子氏(ハローワーク鶴岡) 費 8、500円 他 就労セミナー(2月16日④)  
 ▼男性料理教室「プロに教わるこの一品」洋食」 回 2月7日④午前10時

午後1時 対 市内、三川町、庄内町に在住または勤務の男性先着16人 師 佐藤豊氏(洋食料理調理師) 費 1、500円  
 ▼共通 場・申 1月5日④～25日④に同センター ☎24・2340へ

**アグリ21農業簿記  
パソコン講座**

▼決算書・申告書作成講習会(全3回)  
 回 1月27日④、2月10日④・17日④午後7時 申 1月25日④まで  
 ▼ソリマチ農業簿記 確定申告・e-tax講習会 回 2月25日④午後3時 申 2月23日④まで  
 ▼共通 定 10人 費 2、000円 場・申 JA鶴岡農業振興センター内同農業支援室 ☎29・0455

**初めての水墨画教室**

回 2月～来年1月の毎月第3土曜日午後2時 場 中央公民館ほか 費 月額600円 申 如月会

**介護予防・日常生活支援総合事業  
担い手養成研修会**

▼講義(全3回) 回 2月7日④午前9時15分～午後4時30分、8日④午前9時15分～午後4時、24日④午後9時30分 場 総合保健福祉センター(にこふる)  
 ▼介護実習 回 2月9日④～23日④のうち1日(実習は60分) 場 市内 他 専門職員が同行  
 ▼共通 対 高齢者の総合事業サービス

に携わりたい方、鶴岡市認知症高齢者等見守りサービス事業委託事業者に所属する方50人 持 昼食(24日は不要)  
 申 1月20日④まで本所長寿介護課 ☎内線192へ

**婚活**



**婚活相談会**  
婚シエルジュが親身にサポートします

回 1月28日④午後6時 場 にこふる 対 結婚を希望する未婚の方先着20人(親子や友達同士の参加可) 申 1月23日④まで本所地域振興課内「つるおか世話焼き委員会」事務局 ☎内線587へ

**雪灯籠がともす2人の縁  
縁結び編新酒を味わう会in松ケ岡**

回 2月5日④午後5時(男性は午後3時30分、女性は午後4時30分に鶴岡駅集合) 場 松ケ岡開墾場 対 日本酒が好きな25歳～40歳の未婚の男女各10人 内 交流パーティー等 費 男性：2、500円 女性：2、000円 申 1月27日④まで羽黒庁舎総務企画課 ☎内線226へ 他 送迎バスあり

**J A庄内たがわふれあい交流会  
スイーツ&サンクリアパーティー**

回 2月18日④午後2時 場 グランドエール・サン 対 20歳以上の未婚の男女各20人 費 男性：4、000円 女性：1、000円 申 1月31日④までJA庄内たがわ生活課 ☎64・5834へ

**遊佐町 ゆざ町鱈ふくまつり**

脂がのった寒鱈と草フグをみそで煮込んだ「鱈ふく汁」をお楽しみください。

日 1月15日 午前10時30分 (売り切れ次第終了)

場 マルチドーム「ふれんどりい」

費 当日セット券…1,400円 当日券…500円

問 遊佐鳥海観光協会 ☎0234-72-5666

**庄内町 東北の奇祭！やや祭り**

子供たちが手おけで冷水を浴び、若者たちがお百度参りをし、安産祈願と無病息災、身体堅固を祈願する小正月の風物詩です。

日 1月15日 午後1時

場 千河原八幡神社

問 庄内町観光協会 ☎0234-42-2922

**酒田市 酒田日本海寒鱈まつり**

日 1月28日 午前10時30分～午後3時30分 (寒鱈汁は午後2時まで。売り切れ次第終了)

場 中町モール、中通り商店街、さかた海鮮市場、酒田駅前

内 味の暖簾街、なかまち冬の市、「食の都庄内」親善大使による寒鱈フェスタ、酒の酒田の酒まつり等

■前売り券 700円

■前売り券取り扱い 酒田夢の倶楽、中町中和会商店街、中通り商店街、大通り商店街、酒田商工会議所、マリーン5清水屋、ト一屋 (酒田市内全店)、ヤマザワ (同)

問 酒田商工会議所内同まつり実行委員会 ☎0234-22-9311 または 酒田市観光振興課 ☎0234-26-5759

他 消防団出初式、世界の料理フェア2017 (29日) 同時開催

**三川町 みかわ・あったか冬まつり**

日 1月29日 午前10時～午後2時

場 いろり火の里の花ホール

内 あったか屋台村、特産品の販売

問 三川町観光協会 ☎66-4656

他 前売り券あり

**募集**



**平成29年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業募集**

内 豊かな森づくり活動、自然環境保全活動、森や自然との触れ合い活動等  
 申 1月10日 2月6日 庄内総合支庁森林整備課 ☎66-5524へ  
 HP。平成29年度の予算成立が前提

**田川地区幼・小・中・高・一般書初め書道展(一般(大人)作品募集)**

■規格 半紙、色紙、半切り1/4  
 費 1点600円 申 1月13日 午前9時～午後7時に第三学区コミュニティセンターへ 問 鶴岡書道会 他 書初め書道展 (日) 1月27日 29日 午前10時～午後5時

**相談**



**離婚、養育費、金銭トラブル等ひとり親家庭無料弁護士相談会**

日 1月25日 午後1時30分 場 にごふる 冠 先着4人 申 母子生活支援施設「むつみハイム」 ☎023-632-5075

**弁護士が相談に応じます 勤労者無料法律相談会**

日 1月27日 午後3時～7時 冠 市内、三川町、庄内町に在住または勤務の方先着8人 場 申 1月26日 まで東北労働金庫鶴岡支店 ☎22-3147へ

時 午後5時 場 鶴岡アートフォーラム

**その他**



**山形交響楽団定期演奏会チケットを無料で差し上げます**

日 2月5日 午後3時 場 山形テルサ (山形市) 冠 市内在住の方 (1人2枚まで) 申 1月30日 午前9時に社会教育課 (榊引庁舎) へ 問 同課 ☎57-4867

**イノシシの狩猟期間が延長**

イノシシによる農林業被害の軽減や生態系被害の防止を図るため、イノシシの狩猟期間終了日を3月31日(日)に延長しました。冬期間に作業等で山野へ行く場合は、目立つ色の服を着用する

**死亡している野鳥を見つけたら**

国内で高病原性鳥インフルエンザに感染した野鳥が確認されています(平成28年12月時点)。野鳥はインフルエンザウイルス以外にも様々な細菌や寄生虫を持っている場合がありますので、必要がないときは野鳥に触れないでください。野外で複数の野鳥が死亡しているのを発見した場合は、庄内総合支庁環境課 ☎66-5706 または 本所環境課 ☎内線720へご連絡ください。

**林業退職金共済制度(林退共)のお知らせ**

林退共に加わっていた方で、退職金を受け取っていない方を探しています。また、林退共への加入状況も調べます。詳しくは独立行政法人勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部 ☎03-6731-2887へ。HP。

**自衛官等採用試験**

▼自衛官候補生(陸上男子) ■試験日・会場 1月29日 ①・受験者に通知 申 1月20日 ①まで  
 ▼防衛大学校学生(一般・後期) ■1次試験日・会場 2月18日 ①・仙台駐屯地(宮城県) 申 1月21日 ① 27日 ①  
 ▼共通 問 自衛隊山形地方協力本部 鶴岡出張所 ☎22-0466

支える 育てる 高める  
みんなの 文化会館



新しい文化会館の建設の進捗や開館に向けた取り組みを紹介します。

昨年12月7日撮影

Vol.2 新文化会館の使用料が決まりました

■問合せ/社会教育課芸術文化係 ☎57-2139

■使いやすい文化会館を目指して

新文化会館の使用料については、受益者負担の原則を考慮しつつ旧文化会館や近隣施設と比較しても使いやすい料金体系となるよう検討を重ねてきました。市議会12月定例会で「鶴岡市文化会館設置及び管理条例」が議決され、使用料が下表のとおり決まりました。

新たな使用料を旧文化会館のものと比較すると、市民の利用実績が多い「入場料等3,000円以下（全日）」の場合、98～155%となっています。

使用申込みの受付は夏頃から開始し、使用開始は来年4月以降となります。なお、申込方法や収納方法、冷暖房料、設備・備品使用料、減免内容等は現在検討中です。詳細については改めてお知らせします。

(例) 入場料等1,000円の公演を休日に全日利用する場合の使用料  
旧文化会館 89,460円  
新文化会館 102,500円  
⇒ (差額13,040円) 115%

旧文化会館使用料金表(抜粋) (円)

区分 (冷暖房別)	全日 9:00～22:00	
	入場料等 0～300円	平日 39,300 休日等 49,700
入場料等 301～500円	平日 58,950 休日等 74,550	
入場料等 501～1,000円	平日 70,740 休日等 89,460	
入場料等 1,000円超	平日 78,600 休日等 99,400	

新文化会館使用料金表

(円)

区分	新文化会館 (冷暖房別)					新旧文化会館比較 (%)	酒田市 希望ホール (冷暖房込)	南陽市 文化会館 (冷暖房別)		
							全日			
	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	夜間 18:00～22:00	全日 9:00～22:00	時間利用 1時間につき		9:00～22:00			
大ホール	入場料等 0～500円	平日	13,300	24,400	31,100	61,000	5,500	① 155 ② 103 ※	83,520	60,400
		休日等	16,000	29,300	37,300	73,200	6,600	① 147 ② 98 ※	100,190	72,500
	入場料等 501～1,000円	平日	18,600	34,200	43,500	85,400	7,700	121	108,620	78,600
		休日等	22,400	41,000	52,200	102,500	9,200	115	130,320	94,300
	入場料等 1,001～3,000円	平日	23,900	43,900	56,000	109,800	9,900	140	133,610	96,600
		休日等	28,800	52,700	67,100	131,800	11,900	133	160,350	115,900
入場料等 3,001～5,000円	平日	29,300	53,700	68,400	134,200	12,100	171	158,710	114,900	
	休日等	35,200	64,500	82,100	161,000	14,500	162	190,390	137,800	
入場料等 5,000円超	平日	34,600	63,400	80,900	158,600	14,300	202	183,700	151,200	
	休日等	41,600	76,200	97,000	190,300	17,200	191	220,530	181,400	
小ホール	入場料等 0～500円	平日	4,300	7,800	10,000	19,600	1,800	※①旧文化会館入場料金0～300円、 ②同301～500円との比較。		
		休日等	5,200	9,400	12,000	23,500	2,200			
	入場料等 501～1,000円	平日	7,300	13,300	17,000	33,300	3,100			
休日等		8,800	16,000	20,400	40,000	3,700				
入場料等 1,000円超	平日	8,600	15,600	20,000	39,200	3,600				
	休日等	10,400	18,800	24,000	47,000	4,400				
練習室	練習室1	2,400	4,300	5,500	10,800	1,000				
	練習室2	1,300	2,400	3,100	6,000	500				
楽屋 (ホール利用時は1/2)	楽屋1	2,000	3,600	4,600	9,200	800				
	楽屋2～6	1,200	2,400	3,000	5,800	600				
会議室	会議室1	1,100	2,100	2,600	5,200	500				
	会議室2	2,500	4,600	5,900	11,500	1,000				
託児室 (ホール利用時は無料)		800	1,500	1,900	3,800	300				
駐車場・エントランス等		(1平方メートルあたり1時間につき) 4								

▶大ホール使用時に舞台設備等を使用しない場合は1/2。  
▶午前・午後・夜間を連続して使用する場合、12:00～13:00、17:00～18:00は無料。

○休館日  
12月29日～翌年1月3日  
○開館時間  
9:00～22:00

## 各種相談窓口

※主に市が開設している暮らしに関する相談窓口を紹介します。  
その他の様々な悩みごとは「総合相談」へお問い合わせください。

内 容	相談窓口・電話番号	相 談 日 時 等
総合相談(身近な悩みや心配ごと等)	鶴岡市総合相談室 ☎0120-866-294	月曜～金曜日(祝日は除く) 9:00～16:00
消費生活相談	消費生活センター ☎25-2982	月曜～金曜日(祝日は除く) 9:00～16:00
内職相談、若年者職業紹介	鶴岡ワークサポートルーム ☎25-2215	
教育相談(学校教育全般)		
// (就学に関すること)	教育委員会学校教育課 ☎57-4864	月曜～金曜日(祝日は除く) 9:00～17:00
// (青少年の健全育成)	青少年育成センター ☎0120-783-748	
// (不登校・適応指導教室等)	教育相談センター ☎23-9351	月曜～金曜日(祝日は除く) 9:00～16:00
子育て・家庭児童相談	子ども家庭支援センター ☎25-2741	月曜～金曜日(祝日は除く) 8:30～17:15
障害者に関する相談(身体・知的・精神・児童)	障害者相談支援センター ☎25-2794	
高齢者に関する相談	お住まいの地域を担当する地域包括支援センターへ	

## 今月の各種相談窓口開設日 1/4～2/3

内 容	問 合 せ	相 談 日 時 ・ 会 場 等
行 政 相 談 (行政相談委員)	本所市民課 ☎内線158	10日 ☎14:00～16:00・市役所本所
	藤島庁舎総務企画課 ☎内線216	27日 ☎13:00～15:00・藤島ふれあいセンター
	羽黒庁舎総務企画課 ☎62-2111	17日 ☎13:30～15:30・羽黒コミュニティセンター
	榊引庁舎総務企画課 ☎内線211	2月1日 ☎10:00～12:00・産直あぐり
	朝日庁舎総務企画課 ☎内線410	17日 ☎13:30～15:30・朝日中央コミュニティセンター
	温海庁舎総務企画課 ☎内線312	26日 ☎13:00～15:00・温海ふれあいセンター
登記相談(司法書士)	本所市民課 ☎内線158	19日 ☎14:00～16:00・市役所本所
休日年金相談	日本年金機構鶴岡年金事務所 ☎23-5040	14日 ☎9:30～16:00(要予約)・同事務所

## 休日診療

☎健康課(にこ♥ふる) ☎内線362

### ●急な病気の際は……休日夜間診療所 ☎23-5678

- ・開所日 <日曜日、祝日、年末年始>
  - 9:00～11:30
  - 13:30～16:30
  - 18:00～20:30
- <上記以外の月曜～土曜日>
  - 19:00～21:30
- ・診療科 内科、小児科、外科(②のみ)  
※小児科は、①のみ小児科医が診察します。

### ●休日の歯痛の際は……休日歯科診療所 ☎23-0372

- ・開所日 <日曜日、祝日、年末年始>
  - 9:00～12:00
  - 13:00～15:00

## 献血 1/4～2/3

献血会場で骨髄ドナー登録もできます

☎健康課(にこ♥ふる) ☎内線362

月 日	受付時間	会 場
1. 5 ☎	9:30～11:30	にこ♥ふる
12 ☎	9:00～11:00	榊引公民館
13 ☎	9:00～11:30	鶴岡中央工業団地管理センター
//	13:00～15:30	//
14 ☎	10:00～12:00	鶴岡協同の家こびあ
//	13:30～16:00	//
19 ☎	9:30～11:30	(株)高砂製作所

鶴岡市役所 本所 ☎997-8601  
山形県鶴岡市馬場町9-25  
☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071  
(メールアドレス) tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp  
(ホームページ) http://www.city.tsuruoka.lg.jp  
(フェイスブックページ) https://www.facebook.com/tsuruokacity  
(窓口受付時間) 月曜～金曜日(祝日・年末年始除く)  
午前8時30分～午後5時15分

藤島庁舎 ☎999-7696 市内藤島字笹花25 ☎64-2111  
羽黒庁舎 ☎997-0192 市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111  
榊引庁舎 ☎997-0346 市内上山添字文栄100 ☎57-2111  
朝日庁舎 ☎997-0492 市内下名川字落合1 ☎53-2111  
温海庁舎 ☎999-7205 市内温海戊577-1 ☎43-2111

→メールは  
こちらから



→ホームページは  
こちらから



### 《人口と世帯》(平成28年11月30日現在)

住民基本台帳人口合計: 130,226人  
(男: 62,105人、女: 68,121人)  
世帯数: 48,623世帯

今年は



年です



## 光あふれる一年となりますように

今年(ことし)は酉年(酉年)です。「酉」は鶏のこと。現代の私たちの食卓には毎日のように卵(たまご)が並び、飲食店などでは鶏肉(鶏肉)を使った料理(料理)が出されています。私(わたし)たちにとって、鶏(鶏)は特になじみの深い鳥(鳥)と言えるのではない(ない)でしょうか。

鶏(鶏)が日本の文献(文献)に登場(登場)したのは、『古事記(古事記)』が最初(最初)だと言(い)われています。太陽(太陽)の神(神)である天照大御神(天照大御神)が、弟(弟)・須佐之男命(須佐之男命)の余(あま)りの乱暴(らんぼう)な振舞(まわ)いに、心(こころ)を痛(いた)めて天岩戸(あまのいわと)に閉(こ)じ籠(こも)もつてしま(しま)う場面(場面)。世界(せかい)は闇(やみ)に覆(お)われ、災(わざ)いがあふれてしま(しま)います。困(こ)った八百万(やっぴゃんまん)の神(かみ)々は、知恵(ちえ)の神(かみ)である思金神(おもいかね)に、天照大御神(天照大御神)を岩戸(いわと)から誘(まね)い出(で)す作戦(さくせん)を考(かんが)えてもら(もら)いました。その作戦(さくせん)の初(はじ)めが、「常世(とこよ)の長鳴鳥(ながなきどり)」「つまり夜(よ)明け(あけ)を告(つ)げる鶏(鶏)を集(あ)めて鳴(な)かせること(こと)だった(た)のです。鶏(鶏)の鳴(な)き声(こゑ)をきつ(き)つかけ(かけ)に、裸(はだか)で踊(おど)り狂(くる)う、踊(おど)り子(こ)の天(あま)宇(う)受(う)賣(う)命(めい)。その姿(すがた)を見(み)た神(かみ)々(々)がど(ど)つと笑(わら)い転(ころ)げま(ま)す。外(そと)の騒(さわ)ぎを「何事(なにこと)か」と思(おも)った天照大御神(天照大御神)は岩戸(いわと)を開(ひら)け、再(また)び世界(せかい)に光(ひかり)が差(さ)しま(ま)した。

『日本書紀(日本書紀)』にも同(おな)様に鶏(鶏)を鳴(な)か

せたとの記述(きじゆ)があり、日本神話(にっぽんしんわ)の世界(せかい)での鶏(鶏)は、ま(ま)さに太陽(たいやう)を呼(よ)ぶため(ため)の存在(そんざい)として描(えが)かれています。左(ひだり)上の写真(しやうしん)は、市(いち)内(うち)大泉(おおいずみ)地区(ちく)の白鬚(びげ)神社(じんしゃ)参道(まじち)にある鶏(鶏)の像(ざう)です。鶏(鶏)の像(ざう)が奉納(ほうな)されている神社(じんしゃ)は全(ぜん)国(こく)的(てき)にも多(おほ)く、また、天照大御神(天照大御神)を祭(まつ)る伊勢神宮(いせじんぐう)など(など)では、境(さかい)内に鶏(鶏)が放(はな)し飼(か)いにさ(さ)れていま(いま)す。こ(こ)れは、天岩戸(あまのいわと)の神話(しんわ)から分(わか)るとおり、鶏(鶏)が神(かみ)の使(つか)いである(である)と考(かんが)えら(え)れているから(から)です。

目覚(めざま)まし時計(とけい)など(など)がな(な)かつた時(とき)代(だい)、毎(まい)日(にち)規(き)則(そく)正(ただ)しく鳴(な)き、暁(あけぼの)を知(し)らせる鶏(鶏)は、人(ひと)々(々)の生(い)活(かつ)に欠(か)かせない鳥(とり)で(で)した。一(いち)昔(むかし)ま(ま)では農(い)家の庭先(にわさき)など(など)で飼(か)われていま(いま)ることも多(おほ)く、「コケコッコー!」とい(い)う甲(か)高(たか)い鳴(な)き声(こゑ)を身(み)近(ぢか)に聞(き)くこと(こと)がで(で)きま(ま)した。し(し)かし、近(きん)年(ねん)はそ(そ)うし(し)た機(き)会(かい)もめ(め)つ(つ)きり少(すく)なくな(な)ったよ(よ)うな気(き)がし(し)ま(ま)す。

酉年(ことし)の今(いま)年(ねん)。威勢(いせい)良(よ)く鳴(な)いて太陽(たいやう)の光(ひかり)を呼(よ)ぶ鶏(鶏)にあ(あ)やか(か)つて、私(わたし)たち(たち)も元(もと)気(け)な声(こゑ)で明(あ)るい話(わ)題(だい)を呼(よ)び込(こ)みたい(たい)もの(もの)です(す)ね。

今(いま)年(ねん)が、皆(みな)さん(さん)にと(と)つて光(ひかり)あ(あ)ふ(ふ)れる一(いち)年(ねん)とな(な)ります(ります)よ(よ)う(う)に。

編集・発行／鶴岡市総務部総務課

### 鶴岡シルク・タウンプロジェクト

表紙

## 「kibiso(キビソ)とシルクガールズ」

絹産地の北限であり、絹製品の一連の生産工程が地域内に全て集約されている本市が取り組む「鶴岡シルクタウン・プロジェクト」。鶴岡シルクの伝統・文化を伝えるとともに、絹産業の新たな可能性を切り開くことを目指します。

撮影に協力いただいたのは、蚕が繭を作るときに最初に吐き出す糸「kibiso」を生かした製品づくりに取り組む鶴岡シルク株の大和

匡輔さん、鶴岡シルクを使った衣服をデザイン・製作し、ファッションショー「シルクガールズ・コレクション」を行う鶴岡中央高校「シルクガールズ」の野間桃香さんと藤田海里さん、そして同校教諭の石塚周子さんです。

鶴岡シルクを使用したドレスにkibisoのストールを合わせ、大宝館内に展示してあるkibisoのタペストリー前で撮影しました。



大和匡輔さん、石塚周子さん  
藤田海里さん、野間桃香さん